

表 7-1 地域公共交通網形成計画の目標と評価指標

目指す まちの姿	基本 方針	目標	評価指標	現 状
①みんなで 育む公共 交通の まち	I II IV V	a)公共交通 の利用者 数の増加	対前年度比増加	リニモ：8,077人/日平均(H26年度) 名鉄バス：2,968人/日 (H26年度) Nーバス： 645人/日平均(H26年度)
		b)協働での 取組みの 市民参加 意識の向 上	「利用促進活動への市民 参加の賛同割合」の 調査段階ごとでの増加	65歳未満：65.8% 65歳以上：48.6% 全 体：60.4% ※H25年度の市民アンケート調査結果より
			「利用促進活動の認知度」の 調査段階ごとでの増加	・かわら版の発行 : 7% ・市HPでの連携計画の公開 : 10% ・新聞折り込みで見直し記事掲載 : 16% ※H25年度の市民アンケート調査結果より
②人にやさ しい公共 交通の まち	I II IV	c)公共交通 に対する 市民意識 の向上	「公共交通利用を第一に 考える」割合の 調査段階ごとでの増加	65歳未満：12.6% 65歳以上：28.2% 全 体：16.9% ※H25年度の市民アンケート調査結果より
③環境にや さしい公 共交通の まち	III	d)公共交通 の利用回 数の増加	市民の利用回数の回答が 「減った」より「増えた」 の割合の調査段階ごとでの 増加	リニモ：「増えた30.8%」「減った21.1%」 名鉄バス：「増えた20.7%」「減った15.7%」 Nーバス：「増えた23.8%」「減った13.6%」 ※H25年度の市民アンケート調査結果より

- ※1：利用者数の実績は、策定時に把握できる平成26年度の値を基準とする。なお、外的な要因で利用者の減少が見込まれる場合には、状況を考慮して評価する。
- ※2：リニモとNーバスの利用者実績は、交通事業者の年間運行実績より算定。名鉄バスは交通事業者の1日の実態調査実績による。リニモと名鉄バスは、市内の駅・バス停の利用者数。
- ※3：利用促進活動の認知度の現状は、上表の各項目それぞれ「知っていた」の回答割合。
- ※4：公共交通の利用回数の割合について、「増えた」は「増えた」と「やや増えた」の回答割合を合わせた割合、「減った」は「減った」と「やや減った」の回答割合を合わせた割合。ただし、「分からない」「不明」の回答を除く。
- ※5：目指すまちの姿①～③、基本方針I～V、目標a)～d)の関係は、図 7-3 参照。

【目標の追加・変更について】

上表のとおり設定した目標及び評価指標は、本計画の策定時の状況を踏まえて設定したものである。

本計画策定後においても、社会情勢や都市構造の変化によって、価値観が変わることが考えられ、目標にも影響することが考えられる。

そのため、計画策定後も目標や評価指標の検討に取り組み、必要に応じて追加や変更を行う。追加、変更の際は、その目標の考え方や把握の方法などについて利用者や市民に情報提供を行い、利用者や市民の意見も取り入れながら、本計画に反映していく。